小湊未来新聞

発行日… 8月13日
発行者…千葉市立有吉小学校
5年2組 阿部 真名

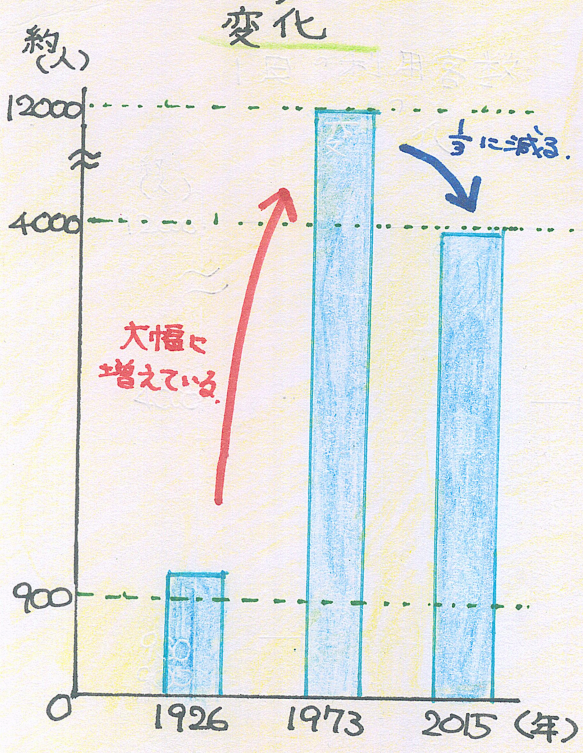
〈小湊鉄道と歴史〉

千葉県の房総半島を横断する小湊鉄道。窓から見える美しい田んぼと、昔ながらの車内は、なんだか昔に戻ったような、今ではないような、落ち着く感じがする。

この小湊鉄道は、大正14年3月から、五井～里見間が開通。その後、大正15年9月に里見～月崎間、昭和3年5月に月崎～上総中野（終点）間が開通し、今は39.1キロメートルを運行している。車体は、昭和25年に蒸気汽関車から内燃動車（ディーゼルカー）に徐々に切りかわっていった。現在は14両で頑張っている。

〈利用客数の変化〉

小湊鉄道ができた当時に比べれば、4倍以上になっているが、利用客がピークだった1973年に比べると、約3分の1に減ってしまっている。



（小湊鉄道ホームページ 会社概要より）

〈ケロちゃん.コロちゃん〉

養老渓谷駅には興和株式会社のマスコットキャラクターの「ケロちゃん」と「コロちゃん」がいる。この2匹は地方鉄道と交流したり、盛り上げたりしている。一緒に写真をとることもできる。

〈足湯でゆったり〉

養老渓谷駅には足湯がある。この湯には鉄分が普通よりも多くふくまれており、茶かっ色をしている。たくさん歩いたりしてつかれた足をあたたかい湯でつかれをとり、あたたまることができる。おすすめスポットだ。

〈インタビュー〉

五井駅の駅長さん、養老渓谷駅の駅員さん、売店の方に聞きました!

Q1. 小湊鉄道の自慢できるところはどこですか?

- ありのままの自然を見れるところです。
- 里山トロッコの自然やまくら木の音です。

Q2. 小湊鉄道の悩みは何ですか?

- お客さんが減ってしまったことです。
- 電車の本数が少ないことです。

Q3. 今の小湊鉄道で変わってほしいことは何ですか?

- このままの状態をいじしていきたいですね。
- 駅で食べるところや、遊ぶところをふやしてほしいです。
- 値段を安くしてほしいです。

Q4. 小湊鉄道は100年後にどのような形であってほしいですか?

- 今は内燃動車なので、電化、複線化して便利になっていてほしいです。
- 古くてもいつまでもかわらないでいてほしいです。
- 今のような田、畑、山の美しい景色が失われないでほしいですね。

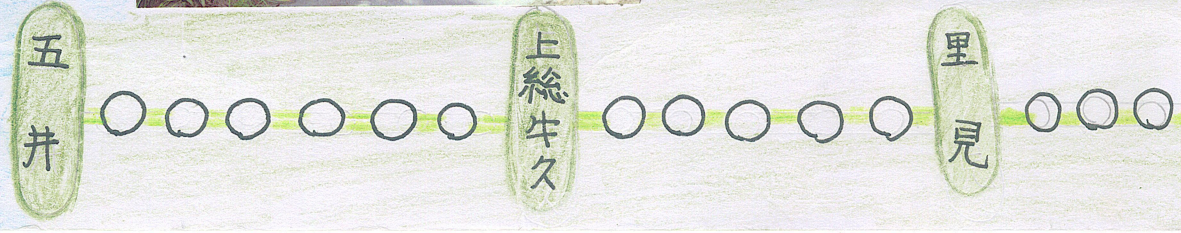
貴重なお時間を割いていただき
ありがとうございました!

〈編集後記〉

駅長さんや、駅員さん、売店の方に取材をして、地域・地元の方々と駅の方の「協力」がどれだけ大切かを学ぶことができた。又、「便利」よりも「今のまま」でいいと言う地元の方々、駅員さんたちの気持ちもよく分かった。

しかし、このままだと協力してくれる人が次第に少なくなっていって、お客さんも少なくなってしまうかもしれない。未来へつなげるためにも、もっとこの鉄道のいいところを知ってもらって、この美しい景色と、落ち着く車内での「小湊旅」をたくさんの人に楽しんでもらいたい。

最後に、駅長さん、駅員さん、売店の方、お忙しい中、取材に答えていただきありがとうございました!!

〈伝統を守るために 未来へつなげるために〉

- 運賃代が高い。通勤・通学に利用している人も少なくはないため、もう少し安くするのがよいと思う。そうすれば乗りやすくなるし、観光客も増えると思う。
- 本数が非常に少なく、2.3時間に一本の割合だ。運賃代の問題でも挙げたように、生活の一部として利用している人も少なくない。だから、本数は増やした方がいいと思う。
- 最後は、なんと言っても地元の方々の協力だ。これが一番大切だろう。里見駅などでは地元の方々が手作りのお弁当や、ストラップを売っている。しかし、高齢化が進み、この小湊鉄道の伝統を受け継ぐ若者が必要となってくるだろう。